

市指定

所在地：瀬利

もくぞうふうとうみょうおうりゅうぞう

木造不動明王立像

なだらかな体つきや憤怒の相があまり強調されない表情からは、安土桃山時代から江戸時代初期の作風がうかがえる。

当不動明王像は、佐々婆神社の願成就寺にあったものを、神仏分離の際（明治初年）、一時和田の善法寺へ移し、さらに他の堂宇へ移され、その後現在の大師堂に落ち着いたものである。

削り抜き、寄木造で、全身が黒漆箔に覆われている。

高さ130cm。

